子どものお祝い

＜お七夜＞

「お七夜」は誕生の日から数えて７日目に行うお祝いです。お七夜は命名の日でもあります。「命名」というのは、名前をつけるという意味です。この日は、赤ちゃんの名前を紙に書いて神棚にはったり、床の間や壁に掛けたりします。名前は発音や意味を考えたり、文字の数や画数で考えたりして選びます。かつては男性であれば「夫・雄・男・郎」などの字をつけ、女性であれば「子」をつけることが多かったのですが、最近ではそうした習慣にとらわれず、自由につけるようになりました。

お七夜にはお祝いのための特別な料理を作って、親せきや近所の人に配ることもあります。７日目にお祝いをするのは、本来は出産が血の汚れを伴うもので、その汚れが７日目に消えると、日本人は考えてきたからです。

＜宮参り＞

赤ちゃんが生まれてから約１か月たつと、近くの神社へお参りに行きます。これを「初宮参り」とか「宮参り」といいます。誕生はお祝いであることはもちろんですが、古い日本人の信仰の中には出産に伴う血を汚れとする見方もあります。その汚れは日がたつに従ってだんだん消えていき、その節目を７日目とか 30 日目とか 100 日目と考え、その日に合わせてお七夜や宮参りをする習慣が生まれたのです。

宮参りには、子どもにきれいな着物を着せます。赤ちゃんの着物は、たいていお母さんの実家から贈られます。初めて神様に子どもを見せるので、より目立たせようという意識がその背景にあるともいえるでしょう。この日は赤ちゃんが初めて外出する日なので、写真やビデオを撮る人もたくさんいます。

＜初節句＞

赤ちゃんが生まれてから満１歳になるまでの特別な日に行うお祝いを「初節句」といいます。女の子は３月３日のひな祭りに、男の子は５月５日の端午の節句の日に祝います。

１年間の季節の変化の中で、節目になる日が節句です。１月１日も７月７日も節句です。今では初節句として祝うのはひな祭り（３月３日）と端午の節句（５月５日）の二つの節句が一般的です。女子の場合、母親の実家や親せきからひな人形を贈ってくることもあります。同じように、男子の場合は、武者人形（侍の姿の人形）あるいはかぶとなどを端午の節句の飾りとして贈ってくることもよくあります。

生まれたばかりの子どもはとても弱いので、節目となる日を一つ越えるごとに祝い、成長を喜ぶ風習がこうした行事を生んだのです。

Copyright The Japan Foundation

①



②



③



Copyright The Japan Foundation

内容確認問題

本文を読んで、次の表に正しい答えを書きましょう。

	お七夜	宮参り	初節句
何番の写真ですか？	（a　　）	（e　　）	（i　　）
いつ祝いますか？	生まれてから （b　　）	生まれてから （f　　）	生まれてから満１歳になるまでの節句の日。 男の子(j　月　日) 女の子(k　月　日)
何をしますか？	子どもに （c　　）をつけます。紙に書いて （d　　）にはったり、床の間や壁に掛けたりします。	子どもに （g　　）て、 （h　　）へお参りに行きます。	女の子の場合は （l　　）を、 男の子の場合は （m　　）を飾ります。

話しましょう

あなたの国の子どものお祝いについて、日本語で話しましょう。

- ✧ 何というお祝いですか？
- ✧ いつ祝いますか？
- ✧ 何をしますか？
- ✧ そのお祝いには、どのような意味がありますか？

Copyright The Japan Foundation

答え

	お七夜	宮参り	初節句
何番の写真ですか？	（a　　③　　）	（e　　②　　）	（i　　①　　）
いつ祝いますか？	生まれてから （b　７日目　　）	生まれてから （f　約１か月　）	生まれてから満１歳に なるまでの節句の日。 男の子(j　５月５日) 女の子(k　３月３日)
何をしますか？	子どもに （c　　名前　　）を つけます。紙に書いて （d　　神棚　　）に はったり、床の間や壁に 掛けたりします。	子どもに （g　着物を着せ　）て、 （h　　神社　　）へ お参りに行きます。	女の子の場合は （l　ひな人形　）を、 男の子の場合は （m　武者人形　）を 飾ります。

Copyright The Japan Foundation